

2020年度

K 3-1

国 語

2月25日(火)

人文社会科学部 (経済学科)

15 : 20 ~ 16 : 10

【前期日程】

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(2枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、4ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

<ul style="list-style-type: none">・書き出しは1マスあけない。・句読点はそれぞれ1マスとする。・小さな文字「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は1マスとする。
--
- 6 問題は、声を出して読んではいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子は、必ず持ち帰りなさい。

1

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(配点六〇%)

(著作権許諾手続中)

(著作權許諾手續中)

（著作権許諾手続中）

（松村圭一郎「贈り物と負債——経済・政治・宗教の交わるところ」による）

問一 傍線部(ア)～(オ)のカタカナの部分を漢字に改めなさい(解答は楷書ではっきり書くこと)。

問二 傍線部A「ふつうは」モノを買うこと」と、「人にプレゼントを渡すこと」は、まったく違う行為だと考えられている」とあるが、それはなぜか、簡潔に説明しなさい。

問三 傍線部B「じつは、私たちも同じようなことをしている」とあるが、筆者は「クラ」の制度とサッカーW杯がどのように同じだと述べているか、説明しなさい。

問四 傍線部C「親しい間柄の親密な贈り物の交換」によってもたらされるものは何か、本文中から二〇字以内で抜き出して答えなさい。

問五 傍線部D「商品交換と贈与交換は分離された営みではなく、連続線上にある」とあるが、その境界が画定できないのはなぜか。筆者の述べているところを整理し、一五〇字以内で説明しなさい。

問六 自分の身の回りや社会にある「モノを介したコミュニケーション」とその意味について、具体例を挙げ、一五〇字以内で考察しなさい。